

財政収支(2020年通年)

(1) 2020年の歳入は前年比17.6%増、税収は同23.6%増。歳出は前年比20.2%増。

(2) 結果として2020年の財政収支は1727.43億リラの赤字(前年比38.5%赤字拡大)。プライマリーバランスは387.81億リラの赤字(前年比56.3%赤字拡大)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2019年(A)	2020年(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	8,752.80	10,294.93	17.6%
税収	6,738.60	8,330.62	23.6%
所得税	1,627.04	1,588.14	▲2.4%
法人税	788.29	1,050.47	33.3%
付加価値税(国内及び輸入)	1,807.29	2,307.12	27.7%
特別消費税	1,471.34	2,072.83	40.9%
その他税収	10.45	13.12	25.6%
税外収入等	20.14	19.64	▲2.5%
歳出(b)	10,000.27	12,022.36	20.2%
人件費	2,498.92	2,877.69	15.2%
物品及びサービスの購入	843.63	963.99	14.3%
経常移転	4,003.16	4,979.89	24.4%
資本支出	807.17	929.11	15.1%
支払利子(c)	999.40	1,339.62	34.0%
その他歳出	8.48	9.32	9.9%
財政収支(a-b)	▲1,247.47	▲1,727.43	▲38.5%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲248.08	▲387.81	▲56.3%

経常収支(1-11月)

(1) 2020年1-11月の経常収支は、352.49億ドルの赤字(前年同期は96.02億ドルの黒字)。

(2) 2020年1-11月の貿易収支(物品)は345.06億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は79.55億ドルの黒字で前年同期から黒字幅縮小。

データ:中央銀行 単位:億ドル

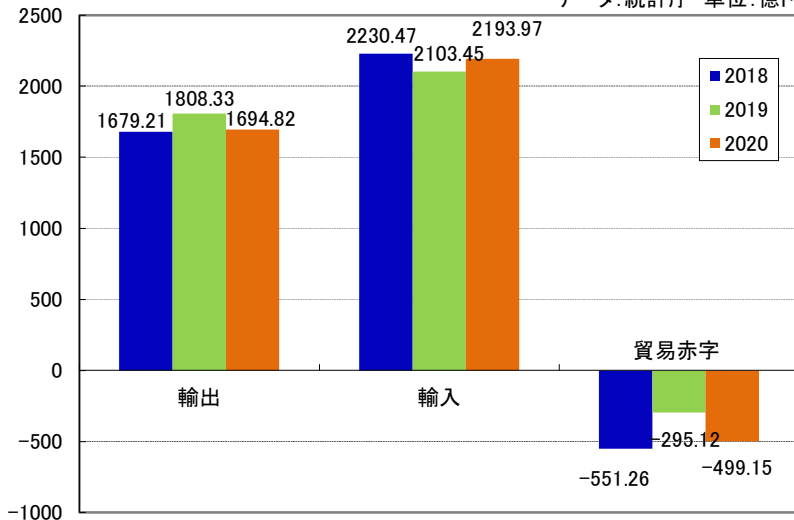
内訳	2019年(A)	2020年(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	96.02	▲352.49	▲467.1%
貿易収支(物品)	▲130.78	▲345.06	▲163.8%
サービス収支	337.21	70.64	▲79.1%
旅行収支	246.07	79.55	▲67.7%
第1次所得収支	▲117.24	▲81.24	30.7%
第2次所得収支	6.83	3.17	▲53.6%
労働者送金	1.67	1.72	3.0%
資本移転等収支	0.36	▲0.32	▲188.9%
金融収支	20.74	▲381.39	▲1938.9%
直接投資	▲54.23	▲34.64	36.1%
証券投資	3.72	106.18	2754.3%
その他投資	2.62	▲66.97	▲2656.1%
外貨準備	68.63	▲385.96	▲662.4%
誤差脱漏	▲75.64	▲28.58	62.2%

貿易収支(2020年通年)

(1) 2020年通年の輸出額は1694.82億ドル(前年比6.3%減)、輸入額は2193.97億ドル(同4.3%増)となり、この結果、貿易収支は499.15億ドルの赤字(同69.1%赤字幅拡大)となった。

(2) 2020年の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は41.3%(前年は42.4%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は33.4%(前年は32.3%)となっている。

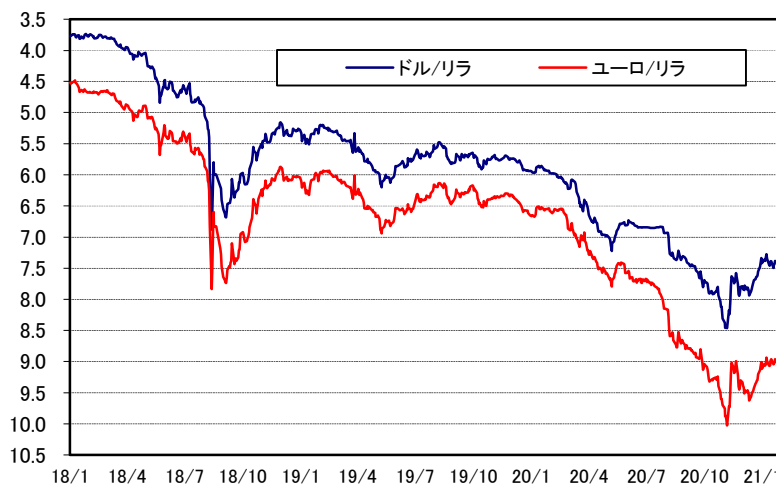
データ:統計庁 単位:億ドル



為替(1月)

15日に大統領の高金利批判発言があった中、21日の金融政策委員会で政策金利を据え置いたこと、28日のインフレレポート公表時の中銀総裁の金融引き締め継続姿勢を市場は好感し、リラは堅調に推移。1月末は1ドル=7.32リラ(前月末比1.3%高)、1ユーロ=8.87リラ(同2.8%高)となった。

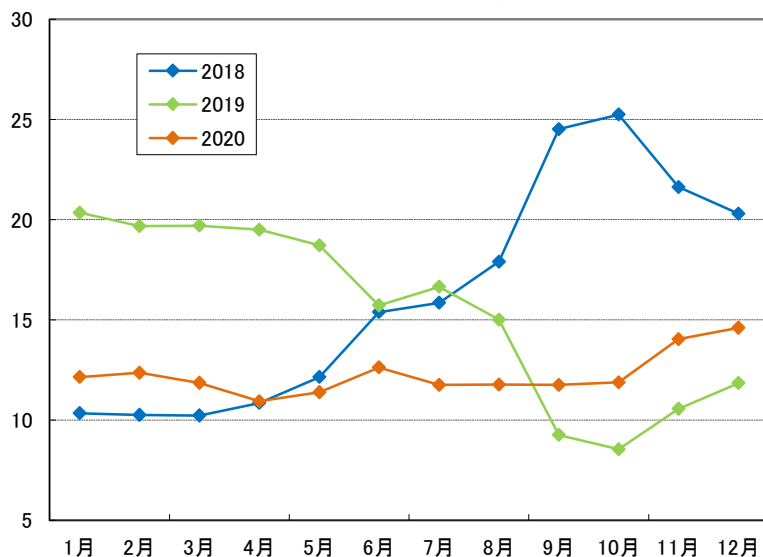
データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(12月)

- 2020年12月の消費者物価は前年同月比14.60%増、前月比1.25%増。
- 項目別にみると、前年同月比では雑貨・サービスが同28.12%、前月比では家具・住宅設備が同3.46%でそれぞれ最も上昇した。
- 2020年末インフレ率の中銀予測(10/28時点)は前年同月比12.1%であり、目標未達成となった。
- 国内生産者物価指数は前年同月比25.15%増、前月比2.36%増となった。

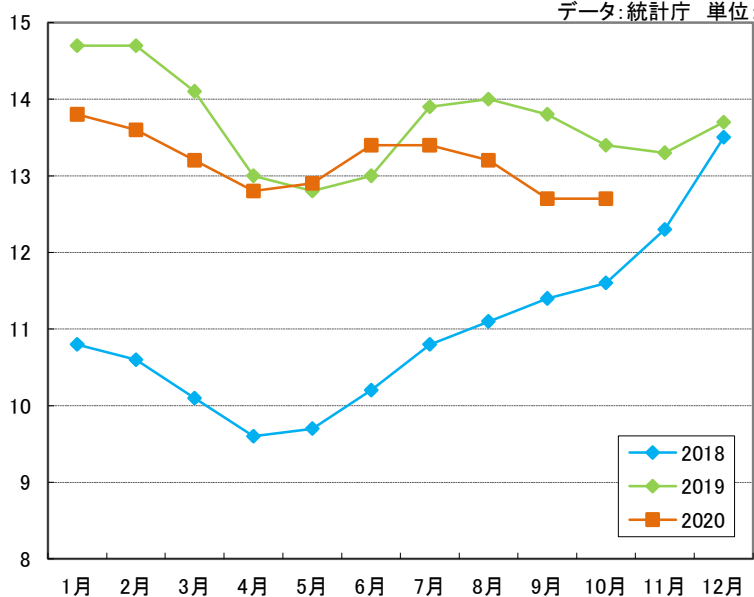
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(10月)

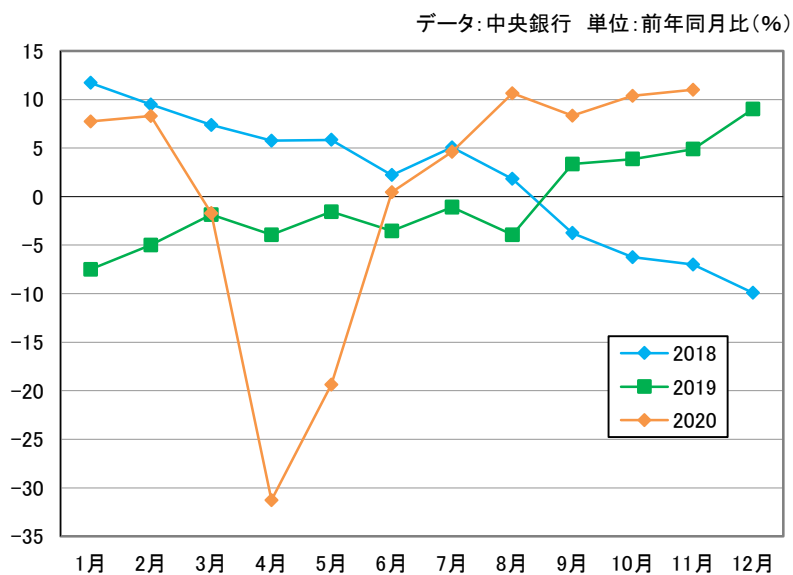
- 2020年10月の失業率は12.7%。前年同月から0.7ポイント低下、前月から不変。
- 労働力人口は3145.2万人、就労者数は2744.7万人、失業者数は400.5万人。
- 男性の失業率は11.5%、女性は15.5%。若年層(15-24歳)の失業率は24.9%となっている。

データ:統計庁 単位:%



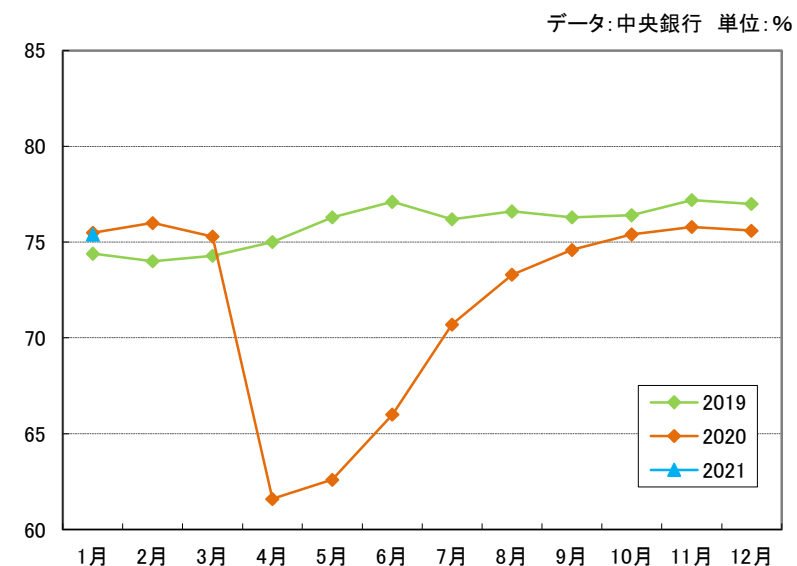
鉱工業生産(11月)

(1)2020年11月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)11.0%増、前月比(季節及び日数調整後)1.3%増。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比22.2%増、中間財が同13.1%増、資本財が同12.4%増となった。



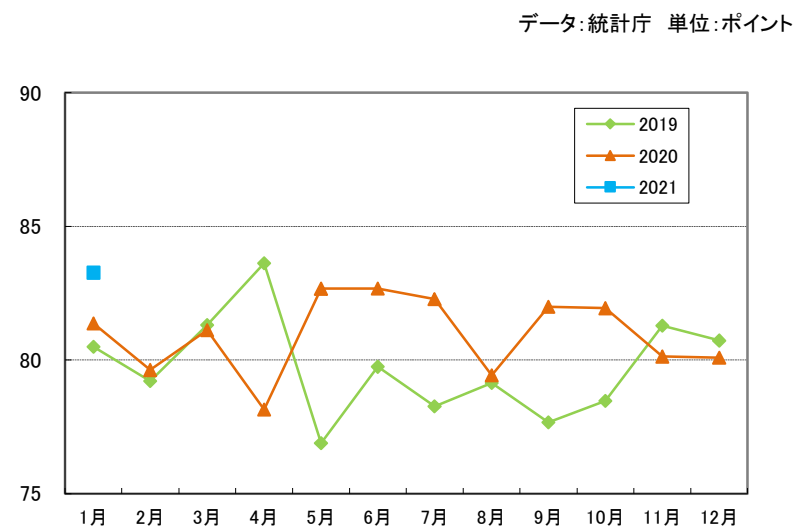
設備稼働率(1月)

(1)2021年1月の設備稼働率は75.4%となり、前年同月から0.1ポイント、前月から0.2ポイントそれぞれ低下。
 (2)製造業の分野別では、材木、木製品及びコルク製品(家具除く)(85.4%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品(58.0%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(1月)

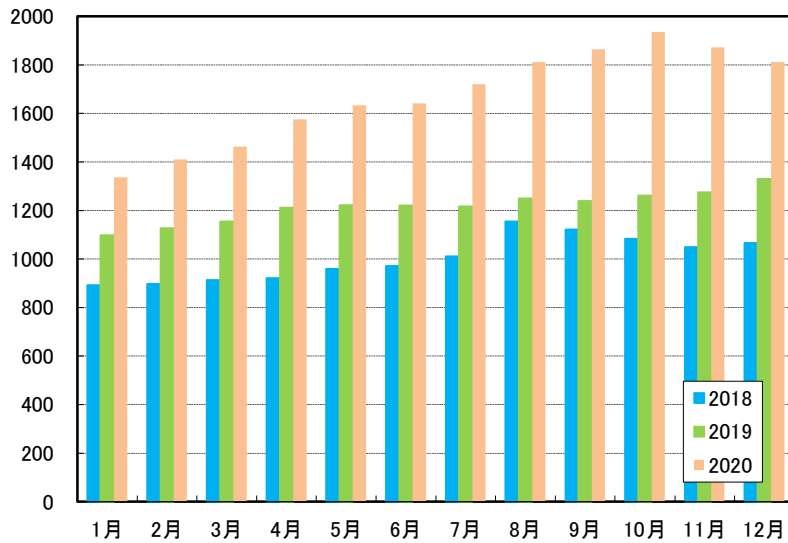
(1)2021年1月の消費者信頼感指数(季節調整値)は83.3ポイントで、前月から3.2ポイント上昇。
 (2)内訳では、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」がそれぞれ前月から上昇した。



中央政府債務残高(12月)

(1)2020年12月末時点での中央政府債務残高は1兆8121億リラとなり、前月比3.2%減、前年同月比36.4%増となった。
 (2)また、国内債務比率は58.5%、自国通貨債務比率は43.8%(2019年末50.3%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は2.3%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

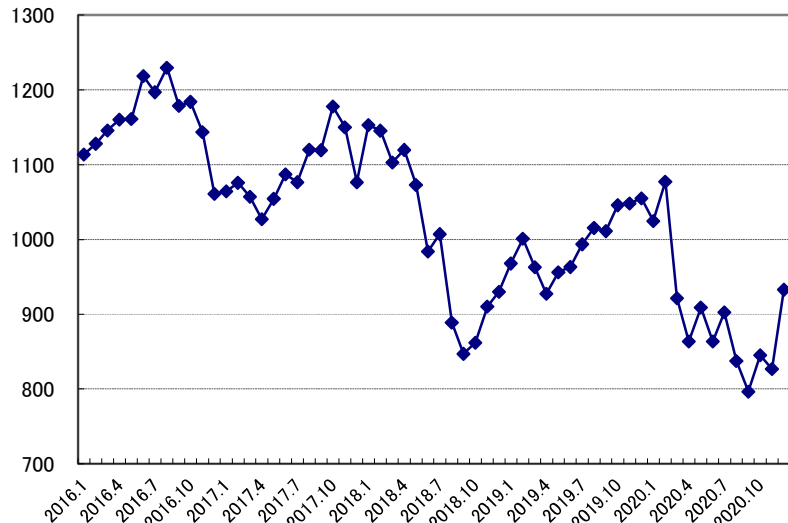
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(12月)

(1)2020年12月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は932.77億ドルとなった。
 (2)前月から105.83億ドルの増加となった。

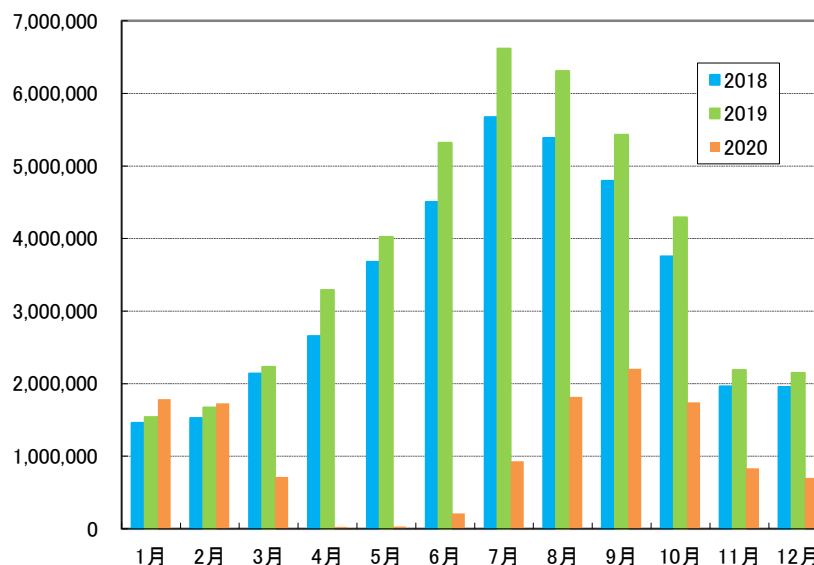
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(12月)

(1)2020年12月の外国人訪問者数は699,330人で、前年同月比67.44%減。日本は346人で前年同月比95.25%減であった。
 (2)国別ではブルガリアが最も多く、102,222人で全体の14.62%を占め、以下、ロシア(90,378人)、ドイツ(47,150人)となっている。
 (3)2020年通年の外国人訪問者数は12,734,213人で前年比71.74%減、日本は19,122人で前年比81.49%減。

データ:文化観光省 単位:人

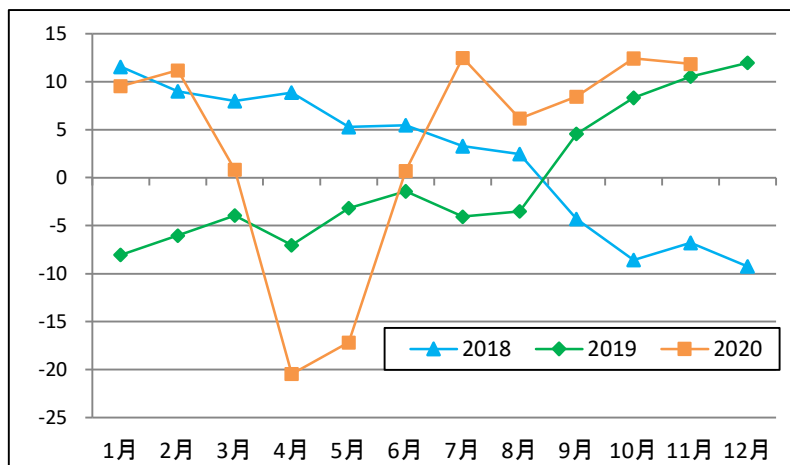


小売売上高(11月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)2020年11月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)11.9%増、前月比(季節及び日数調整後)2.2%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比11.4%増、通販が同69.8%増、電器・家具が同17.2%増となった。



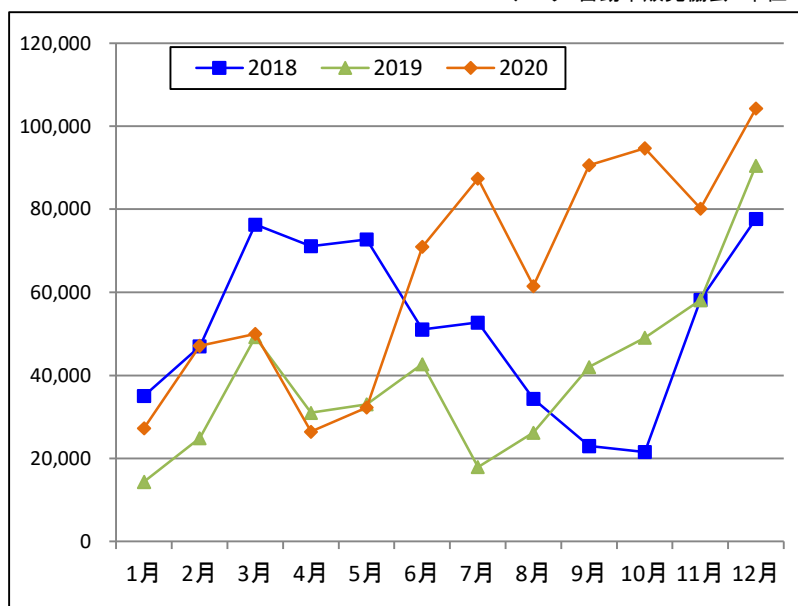
新車販売台数(12月)

データ:自動車販売協会 単位:台

(1)2020年12月の新車販売台数は104,293台で前年同月比15.2%増。

(2)12月の内訳は乗用車が80,721台(前年同月比14%増)、小型商用車が23,572台(同19.8%増)となった。

(3)2020年通年の新車販売台数は772,788台で前年比61.3%増。



住宅販売戸数(12月)

データ:統計庁 単位:戸

(1)2020年12月の住宅販売戸数は105,981戸で前年同月比47.6%減となった。

(2)12月は新築が36,898戸(前年同月比51.1%減)、中古が69,083戸(同45.4%減)。

(3)12月の住宅ローンでの購入は14,631戸(前年同月比70.9%減)、その他が91,350戸(同39.8%減)。

(4)2020年通年の住宅販売戸数は1,499,316戸で前年比11.2%増。

